

近況報告など

第3期 OB 横山 嵩

今年度のOB会も迫ってきましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。2013年については、なるべくゼミにも顔を出そうと思っておりましたが、中々思うように時間が取れず、飲み会に数度参加した程度になってしまった事を反省しています。

さて、昨年（2013年）を振り返ってみると、仕事では変わらず「東急ベル」というホームコンビニエンス事業（食材の宅配や各種の宅訪サービスの提供を行う事業）に携わっているのですが、昨年のエッセイで書いた直後に営業所の運行管理者から本部の企画・運営担当に変わりました。人が少ないので、プロモーション戦略から配送現場の運用構築まではほぼ全ての領域の業務をカバーしており目が回りそうですが、なんとか日々過ごしています。事業も立ち上げて1年が経ち、ようやく多少認知も進んできたかなという感触です。

一方、仕事以外ではあまり大きな変化はありませんでした。引き続き、アメリカンフットボールの選手とジャズビッグバンドのプレイヤーの両立と、慶應義塾幼稚舎の水泳学校のボランティアコーチ活動が主なものでしょうか。幼稚舎の水泳学校は2年目ですが、前回よりも参加生徒の数が倍増し、規模がどんど



本年度の三田祭打ち上げ会場、高記食府の入り口にて、高木・第3期ゼミ長と共に、荻野・第8期ゼミ長と、内藤・第11期ゼミ長の歓迎を受ける著者（中央左側）



本年度の三田祭の打ち上げにて 乾杯の音頭をとる著者

ん大きくなっていくのを感じました。5日間生徒たちとつきっきりで相手して指導をするのは体力的にも結構しんどいのですが、今回のわが班の生徒たちもみんないい子たちだったので、自分も楽しみながら指導ができ、最終的には全員を3000mの遠泳を完泳させることができました。

まあ、こう子供と一緒に写っている写真を見ると自分の大きさに改めて気づいてしまうのですが、とう



幼稚舎の水泳学校にて（著者は後列左端）
著者の右隣りのは加藤三明・幼稚舎長

とう軽く大人2人分にまで成長してしまいました（過去最高値）。よく考えればこれが2013年1番の変化かもしれません（誰か、減らし方教えてください…）。

ここまで大きくなると、日常生活において皆様とは色々異なっている部分が出てくるようで、その中の1つに、「エレベーターに乗るときに、真っ先に荷重制限（定員ではない）の重さを見る」というのがあります。これは非常に大事な事として、例えばですね、飲み会とかで雑居ビルの4Fとかにあるお店とかに行くことがあるとします。わりと小ぶりのエレベーターがあり、乗るのが4人くらいだとして、3人目までに自分が乗ってしまうと、高確率で4人目がアウトになります。大体の人はその時点でそれらの指標に目が行くのですが、そこでまた定員が「6人」、「最大積載400キロ」とかって書いてあるわけです。で、その後かなりの確率で皆が自分の方をチラッと見るわけです。「なんなんだよ、何か言いたいことがあるなら言え！」と思うのですが、そこで自分が暴れても事態が解決しないので、4人目の人と共に次のエレベーターで行くよ、という大人の展開に落ち着くことがほとんどです。そういう経験を繰り返した結果、真っ先に荷重制限を確認し、他の人の体重をざっと計算して乗るかどうかを判断する、という事を自然と行うようになりましたし、ドアのサイズ、箱の奥行きで大体の荷重制限がわかるようになりました。

他にも以下のようなことがあったりします。

- ・街中のお店ではぼろ入りのサイズの服がない。（洋服の青山ですら入るサイズがない）
⇒服が選べる皆さんがうらやましいです。
- ・海外で服と靴などを買い込みすぎて、高確率で帰国時に税関で質問攻めに会う。
⇒男1人にしてはあまりにも多い荷物だからでしょう。
- ・椅子に座る際、壊れる可能性を常に視野に入れながら座る。
⇒特にラーメン屋の丸椅子、おしゃれなデザイナーズチェアなどが危険です。
バーベキューなどで使う折り畳みの椅子などは瞬殺です。
- ・OAフロアを元気よく歩いていると、地震だと勘違いする人が出る。
⇒薄い床板で底上げしているので、結構揺れるみたいですね。
- ・行列が短いラーメン二郎を見かけると、空腹に関係なくつい並んでしまう。
⇒これは反射神経です。
- ・満員電車では、特定の人に寄りかからないように常に気を付ける。
⇒特定の人に圧力をかけると、肋骨とか骨折させてしまうかもしれないので。

まだ色々ありますが、まあこれくらいにしておきましょう。

さて、途中から脱線してくだらない話になってしましまして恐縮でしたが、ここまで読んでいただき、ありがとうございます。気づけば小野ゼミも11期を数える規模となり、卒業生も多くなりましたが、こんなOBもいるのだなあ、と感づいていただければ幸いです。

それでは皆様、今年もよろしくお願ひいたします。